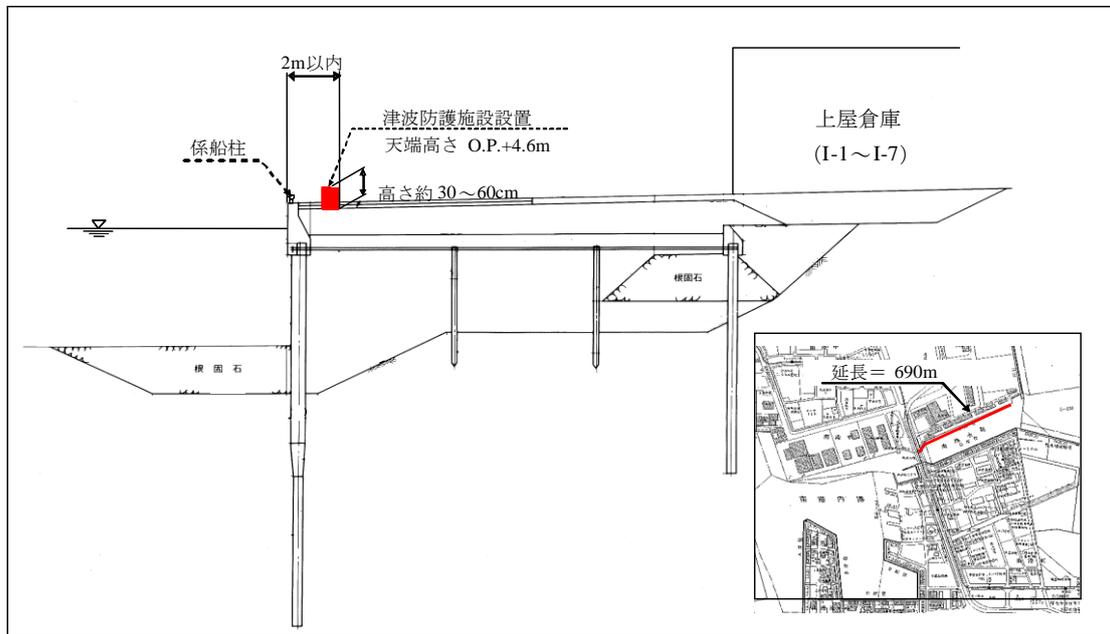
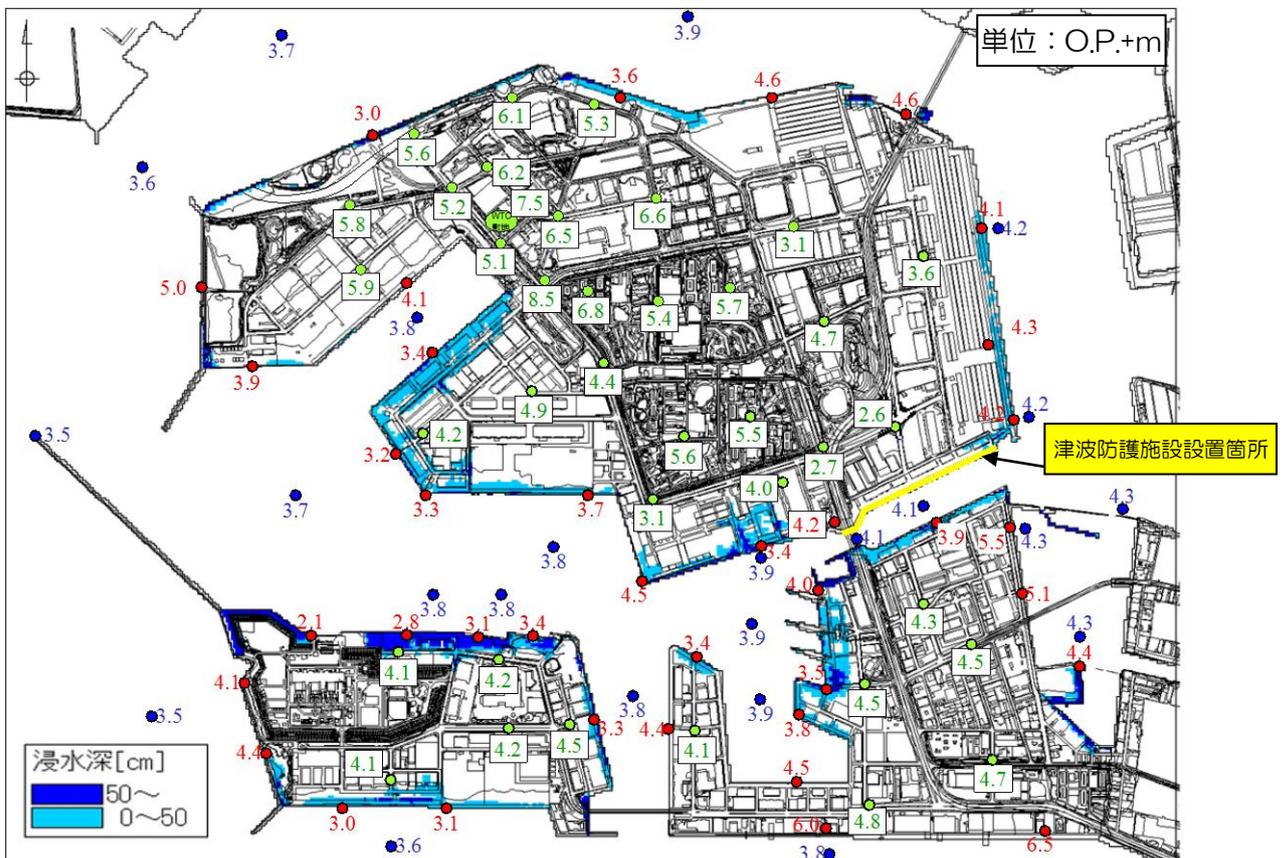


南港大橋北詰における津波防護対策について

東南海・南海地震に伴う津波対策として、下図のとおり岸壁沿いに津波防護施設を設置いたしました。東南海・南海地震に伴う最大の津波高さは、満潮時にO.P.+4.3mと想定しており、これに、地震発生時の沈下等を考慮し、天端高さO.P.+4.6mとしています。



【津波浸水対策図】



【津波防護対策後の浸水想定図】

なお、埠頭利用しているその他の護岸沿いにつきましても、当該の事業者様に対して、防災マップ等を配布するとともに、地震時の避難方法等について十分な啓発を実施する予定です。また、咲洲の地盤沈下は、ほぼ収束して、急激に沈下が進行するようなことはないと考えておりますが、今後とも地盤高さの経年把握に努め、必要に応じて適切に対策を講じて参ります。